

# 市議会だより

## 市議会第1回定例会

### 平成28年度予算案を審議

平成28年市議会第1回定例会を、2月22日から3月22日までの30日間、開催しました。

この定例会では、条例関係22件、一般議案8件、補正予算10件、諮問2件、新年度予算13件、議員提案2件（意見書）の合わせて57件を審議しました。審議日程は次のとおりでした。

▼2月22日の本会議1日目は、会期を30日間と決めた後、議案の説明、市長の施政方針演説が行われ、人権擁護委員の推薦について可とし、関市広見財産区管理委員の選任について同意しました。また新年度予算を審査するための特別委員会が設置されました。

▼3月2日の本会議2日目は、議案に対する質疑を行い、関市附属機関設置条例の一部改正についてなど17件を可決・承認しました。

行政不服審査法の施行に伴う関係条例の整備に関する条例の制定について、平

成27年度関市一般会計補正予算（第6号）など22件をそれぞれ所管の各常任委員会に、平成28年度関市一般会計予算など13件の新年度予算を新年度予算特別委員会に付託しました。

その後、代表質問・一般質問通告者15人のうち4人が、当局の姿勢や方針について代表質問を行いました。

▼3日の本会議3日目は、6人が代表質問、一般質問を行いました。

▼4日の本会議4日目は、5人が一般質問を行いました。

▼8日～16日は各常任委員会及び新年度予算特別委員会で付託案件の審査を行いました。

▼22日の本会議5日目は、各常任委員長と新年度予算特別委員長から付託案件の委員会審査結果の報告が行われ、討論、採決の結果、付託されたすべての議案が可決されました。また、追加議案として一般議案1件が審議され可決された後、議員提案の意見書2件が審議され、1件が可決、1件が否決され、今定例会に付議された案件をすべて議了し閉会しました。

### 代表質問・一般質問

#### 病児・病後児保育

質問 受入体制は

【答弁】 お子さんが病気の時や病気の回復期に集団生活が困難な時、保護者の仕事などの都合で家庭での保育ができない場合に、看護師と保育士による専用の施設で一時的にお預かりする病児・病後児保育として、中濃厚生病院に病児・病後児保育、関中央病院に病後児保育を委託しています。

インフルエンザなどの感染症が流行する時期など、病児・病後児保育希望の申込みが定員を超える場合には、お断りする場合がありますが、事前予約のキャンセル待ちの案内、市内の他施設や広域協定を締結している市外の施設の紹介をしています。

#### 世界農業遺産

質問 小瀬鵜飼との観光計画は

【答弁】 昨年12月15日に「清流長良川の鮎」が世界農業遺産に認定され、関市においても認定を追い風に、「小瀬鵜飼」を国内外へPRする絶好な機会であると考えています。世界農業遺産の認定に向けて、ともに取り組んできた県と岐阜市、美濃市、郡上市の長良川中流域4市がより一層連携を強

化するため、県を中心に取り組みを進めています。この事業では、ホームページやガイドブックなどの情報発信ツール整備事業、レンタカークーポンや宿泊セットなどの流域間の観光周遊に繋がる流域周遊型商品造成事業、大手旅行会社や大手宿泊予約サイトと連携した滞在型旅行商品造成事業などを予定しています。

#### 行財政改革

質問 コンパクトシティの取り組みは

【答弁】 関市に限らず全国の自治体で、大量の公共施設の更新が今後の大きな課題となっています。少子高齢化、人口減少社会を迎え、限られた予算で効率よく公共施設サービスの維持・向上を図るためには、選択と集中による量から質への転換が鍵となってきます。

関市公共施設再配置計画では、人口の多い市街地ばかりに公共施設を集約する一極集中ではなく、合併を踏まえた関市の地形や交通事情等を考慮し、将来のまちづくりなどの観点からも必要な機能を見極め、「関・武芸川」、「洞戸・板取」、「武儀・上之保」の3つのエリアを基本としながら小学校区ごとに地域のコミュニティとなる拠点を整備することとしており、周辺地域にも必要な機能を維持することで、エリアごとのコミュニティを充実させることを目指しています。

## 出生率

**質問** 出生率を上げるには何が大切か

**答弁** 出生率を上げるためには、単に経済的支援や子育て支援施策の充実だけでなく、未婚化や晩婚化などの社会現象が少子化につながり、出生率の低下をもたらしているという現状に目を向け、大きな問題として捉え解決しなければならぬと考えています。また、核家族化が進み、子育てに家族の支援を受けにくくなり、身近に育児不安を相談する人がいない場合や、ひとり親家庭の増加など経済的支援が必要になる場合も多くなっています。

このような要因を認識したうえで、婚活イベントの開催など、独身男女の出会いの場を提供する婚活支援や、保健センターにおいて実施している妊娠期から始まる子育て支援施策の充実など、働きながら安心して子育てができる環境整備や、低所得者に配慮した保育料の軽減などの経済的支援も行い、出生率の上昇につなげたいと考えています。

## 女性活躍推進

**質問** 推進法施行に伴う取り組みは

**答弁** 市における女性就業者の割合は、国や県の平均とほぼ同等となっていますが、女性管理職の割合は、まだまだ低い状況です。市では女性の職業生活に

おける活躍を進めるための推進計画を平成28年度中に策定する予定です。今後この計画に基づいて、市内の民間事業者に職業生活における女性活躍の重要性を周知していきます。

また、平成26年度の岐阜労働局へのハラスメント被害の相談件数は490件あり、過去5年間で最多でした。職業生活のハラスメント相談には、心理的ケア、法的な措置など専門的な知識が必要になりますので、岐阜労働局や県の相談窓口と適切に連携するとともに、これらの相談窓口の周知を図っていきます。

## コンビニでの証明書発行

**質問** 個人番号カードを利用したの証明書発行は

**答弁** 現在、住民票等の証明書を取得する場合は、市役所や各地域事務所、西部支所に来庁していただくか、夜間ポストの利用、郵送による請求のいずれかの方法となっています。平成28年度中に開始予定のコンビニ交付サービスは、個人番号カードを利用して、全国のコンビニエンスストアで証明書を取得することが可能になります。なお、コンビニエンスストアで発行できる証明書は、住民票及び戸籍謄抄本、印鑑登録証明、戸籍の附票、税関係では所得証明、課税証明と課税所得証明となります。

## 要介護度改善奨励事業

**質問** 概要と目的は

**答弁** 平成28年度から実施するこの事業は、要介護者の要介護度改善に取り組み、一定の成果を上げた事業所に対して奨励金を交付するもので、期間は3年間としています。対象となる介護サービス事業所は、市内に設置されている通所介護、通所リハビリテーション、認知症対応型通所介護及び小規模多機能型居宅介護の4種類の介護サービス事業となります。より質の高い介護サービスを提供する事業所に奨励金を交付することにより、介護サービスの質の向上と介護職員の士気の向上、及び居宅介護サービス事業者が要介護度の改善・維持を図る意欲を高められることを大きなねらいとしており、また、介護保険給付費の抑制や地域包括ケアシステム構築の推進につながることも期待しています。

## 西本郷一ツ山線

**質問** 進捗状況と今後の整備計画は

**答弁** 西本郷一ツ山線と旧国道248号の交差点が長良川鉄道の踏切に近接する大変複雑な交差点ということから、協議に期間を要しましたが、平成26年9月に公安委員会との協議が完了し、これを受け、平成27年3月に都市計画の変更

を行いました。現在、用地買収を進めると共に、公安委員会と交通信号機設置について協議を行っています。今後については、平成28年度に残りの用地買収を完了させ、中部運輸局へ長良川鉄道一ツ山踏切の変更認可申請を行い、一部改良工事に着手する予定です。平成29年度に残りの改良工事と踏切新設工事を施工し、年度末の完成を目標に事業を進めていきます。

## ICT教育

**質問** カリキュラムの作成は

**答弁** 市では学校教育の方針と重点に、情報教育として「ICTを積極的に活用しようとする意欲と態度の育成」「ネットいじめやネット依存等を防止する情報モラルの指導の徹底」の2つを挙げ、児童生徒へのICT教育を行っています。小学校では、総合的な学習の時間に「情報」を学習テーマに取り上げ、基本操作や情報収集、情報モラルなどの学習に取り組んでいます。

カリキュラムについては、各校がICT機器の整備状況に応じた指導計画を作成し、それに沿って取り組んでいるのが現状です。ICT教育カリキュラムの作成については、今後、全市的なICT機器の配置や教材の整備を進める中で検討していきます。

## 宝磨き上げ事業

質問 今後の取り組み内容は

【答弁】 合併した旧町村部の地域資源をさらに輝かせることで、地域経済に寄与することを目的とする宝磨き上げ事業については、平成28年度に総額2,100万円の予算を計上し、板取の通称「モネの池」、武芸川の「寺尾ヶ原千本桜」、武儀の「高澤観音」の3地域の資源を振興していきます。モネの池については、公衆トイレの再整備、池周辺のアジサイ植栽、大型看板の設置等を行い、観光名所としての環境改善を図っていきます。また、老木となった寺尾千本桜は、今後数年間をかけて植え替えをしていきます。高澤観音については、道の駅平成などの観光スポットに布製ポスターを貼り出し、また武儀地域委員会等の活動を通して振興策を検討していただき、その魅力を広くPRしていきたいと考えています。

平成29年度も引き続き、洞戸や上之保地域の振興を中心に、旧町村部の自然、史跡、特産品など多様な資源の振興を図っていきます。

## 食物アレルギー対応

質問 児童生徒の調理実習は

【答弁】 食物アレルギーを有する児童生徒が安心して学校生活を送ることができ

きるよう、食物アレルギー対応メニューを作成し、市内全小中学校に配布し、対応を徹底しています。調理実習では、保護者からの申出や調理実習時の事前調査等により児童生徒の実態を把握し、状況に応じて個々に対応しています。例えば、食材やメニューの変更、児童が家庭で使用している食材の購入、家庭から持参した調理器具を使用する等、個別に計画を立て対応をしています。各学校において最善の対応を検討し、実習を行っていきたくと考えています。

## 消防団ドローン部隊

質問 ドローンの運用基準は

【答弁】 関市消防団では、平成27年度にドローン2機を購入、ドローン部隊を編制して運用を開始しています。運用に伴い、関市消防団ドローン運用マニュアルを作成し、出動対象、操縦者の認定方法、飛行方法、維持管理及び訓練方法を定めています。また、万が一の事故に備え、賠償責任保険にも加入しています。現在までの活動状況として、2月末までに点検訓練5回、中濃消防組合潜水隊と合同での水難事故現場想定訓練2回、消防団ドローン部隊単独での水難事故現場想定訓練を1回実施しています。

今後定期的な訓練によって出動体制を確立させ、安全で確かな運用を行っていきます。

## 子育て世代支援

質問 支援センターの概要は

【答弁】 妊娠前から出産、子育て時期までの切れ目のない支援をめざし、さまざまな疑問や相談に対応する総合相談窓口として、関市保健センター内に「子育て世代包括支援センター」の開設を予定しています。

相談体制としては、関市保健センターの事務室内に保健師、家庭児童相談員、社会福祉士を相談員として配置する予定です。個別相談を行う相談室は、すでに設置している相談室の利用や、事務室に隣接した談話室に相談スペースを設ける予定です。わかかさ・プラザにある家庭児童相談室の児童相談部門は、新しく設置する支援センターに機能を移し、母子相談、自立相談、DV相談は引き続き現在の場所で相談を継続します。

## 中池運動公園施設整備

質問 施設の維持管理方針は

【答弁】 今後、改修が必要な中池公園内の施設としては、陸上競技場の管理棟や市民球場などがあります。陸上競技場の管理棟は老朽化が激しく、耐震の面からも問題があるため、改築に向けて平成28年度に設計業務を予定しています。また市民球場も老朽化し、大きな大会開催時の基準に合わない部分もあるため、今後、利用者や大会関

係者からのご意見をいただきながら、改修に取り組んでいく予定です。

こうした改修には多額の経費を要するため、改修が本当に必要な慎重に検討していく必要があります。市が、将来にわたって全ての施設を良好な状態で維持管理していくことは財政的に難しいため、費用対効果を踏まえる中で、民間に任せられた方が施設の価値や市民サービスが高まるものについては、将来的に実施を検討していくことも必要であると考えています。

## 刃物ミュージアム回廊

質問 ソフト事業の展開は

【答弁】 刃物ミュージアム回廊整備事業では、市民の皆さんや関市を訪れていただいた方々に「刃物のまち・関市」を体感してもらえようという、関市の顔となる産業と観光の拠点づくりの実現を目指しています。

刀剣女子に代表される日本刀ブームや、サムライ文化の象徴でもある刃物文化などに関わるコンテンツを核と位置付け、事業を推進したいと考えています。具体的には、包丁・ナイフづくり体験や刃物研ぎ体験、円空彫りなど、刃物を使ったものづくり体験、また日本刀づくりや刀剣研磨外装などの作業工程の公開・体験、居合道の実演など、体験型の観光資源を中心に、あらゆる可能性を含めた調査と研究を進めていきたいと考えています。



いつも前を向いて～女性の活躍にむけて学ぶ楽しさ・生きる楽しさ～

女性活躍推進法が施行され、これまで以上に女性の活躍が期待されています。今回は、菊池桃子さんを講師に迎え、「いつも前を向いて～女性の活躍にむけて学ぶ楽しさ・生きる楽しさ～」としてお話しいたできます。皆様ぜひご参加ください。

- **日時** 7月3日(日) 午後1時～3時
- **場所** わかくさ・プラザ「学習情報館・多目的ホール」
- **講師** 菊池桃子さん(女優、戸板女子短期大学客員教授)



- **定員** 300人
- **対象** 関市在住(在勤)の中学生以上
- **申込方法** 往復はがきの往信面に、参加希望者全員(2人)までの  
①郵便番号 ②住所 ③氏名 ④性別 ⑤電話番号  
関市以外在住の方は ⑥勤務先 ⑦勤務先住所  
託児希望の方は ⑧お子さんの氏名 ⑨氏名読み仮名  
⑩性別 ⑪年齢 を記入し、  
返信面に申込者の住所、氏名を記入のうえ、5月31日(火)  
必着にて申し込み。※応募多数の場合は抽選を行います。  
※参加の可否は、返信はがきにてお知らせします。
- **申込先** 岐阜市東興町27番地 株式会社 中広(☎058-248-5611)  
※本フォーラムの募集事業は関市が(株)中広に委託しております。
- **照会先** 市民協働課(☎23-7711)

託児あり  
(無料・定員10人程度)  
手話通訳あり

関市・美濃加茂市・各務原市・3市連携事業

クラウドファンディングでああなたの夢を叶えませんか!

▶クラウドファンディングとは?

あなたが描く「こんなことがやりたい!」を、インターネット上で公開し、共感した人から、実現するために必要な費用を少額ずつ募るシステムです。



▶FAOVO 美濃国とは?

関、美濃加茂、各務原の3市がエリアオーナーを務める、地域を盛り上げるプロジェクトに特化したクラウドファンディングサイトです。

▶例えばこんなときに…



▶詳細は「FAOVO 美濃国」または Facebook ページで



【照会先：FAOVO 美濃国 事務局】  
美濃加茂市起業家支援 姫 biz 専用  
mobile 090-6469-9981  
URL: <https://faavo.jp/minonokuni>  
関市商工課：☎23-6752

～日本経済の未来は、あなたの調査票から～

# 経済センサス

## 活動調査



### 平成28年6月1日現在で、 経済センサスー活動調査を実施します。

- 「経済センサス-活動調査」は、**全国すべての事業所・企業を対象**に、全産業分野について売上（収入）金額や費用などの経理項目を同一時点で網羅的に把握する我が国唯一の調査です。
- 調査の結果は、国の各種行政施策をはじめ、地域の産業振興や商店街の活性化などの地域行政のための基礎資料として活用されます。
- 支社などがない事業所には、都道府県知事が任命した調査員がお伺いして、調査票をお配りします。
- 支社などがある企業などには、国が本社などに傘下の支社分の調査票をまとめて郵送します。
- 回答は「インターネット」か「紙の調査票」を選択できます。インターネットでの回答は、安心のセキュリティ、簡単な作業、24時間いつでも都合の良い時間に回答できるなど、いろいろなメリットがあります。
- 調査票は平成28年5月末日までにお届けします。

## 経済センサス-活動調査 Q&A

**Q:平成26年に同じような調査に回答したが…**

**A:**平成26年7月に実施した経済センサス-基礎調査は、主に事業所・企業の名称、所在地、従業員数などの基礎情報を集めました。今回実施する活動調査は、その情報を活用して、事業所・企業の売上高などの経済活動も調査します。

**Q:必ず答えなければならないの？**

**A:**正確な回答をいただけないと経済の実態を正確に把握できないため、本当に必要な施策が実施できなくなるおそれがあります。このため、この調査には「統計法」という法律に基づき回答する義務と、反したときの罰則が定められています。

**Q:回答した内容が漏れることはないの？**

**A:**調査員をはじめとする関係者には「統計法」という法律により調査で知ったことを他に漏らしてはいけない義務と、これに反したときの罰則が定められています。また、回答いただいた内容は、統計作成の目的以外（税の資料など）には絶対に使用しません。

調査の趣旨・必要性をご理解いただき、ご回答をよろしくお願いいたします。

■照会先 企画政策課 ☎23-6876

総務省・経済産業省・岐阜県・関市

くわしくは経済センサス-活動調査キャンペーンサイトをご覧ください。

<http://www.e-census2016.stat.go.jp/>

経済センサス2016 検索



## ★ 名古屋までさらに便利に ～高速特急名古屋線～ ★

先月4月1日から、関シティターミナルから名古屋行き高速バスの「特急」がスタートしました。

高速名古屋線は年間19万人以上の多くの方が利用されています。ただし、関市内でのバス停は多く、名古屋で高速を下りてからも栄を経由して名鉄バスセンター（名古屋駅）に向かうため、どうしても時間がかかっていました。

今回、関市から岐阜バスにお願いをして、朝に名古屋行2便、夕に関方面行2便を新たに増便していただき、関シティターミナルと名鉄バスセンターを直行便でつなぎます。この特急便では所要時間が約20分間短くなります。



名鉄バスセンターまで1時間で結びます



「高速特急名古屋線」運行開始セレモニー

2年前に関シティターミナルをパーク&ライドの拠点として整備したわけですが、今では1日70台以上の方に有料駐車場（3時間以上）をご利用いただいていますので、3時間以内無料の利用も含めると多くの方に活用していただいていると思います。「特急」の運行開始により、さらに公共交通の拠点として市民の皆さんに使っていただけることを期待しています。毎日運行ですので、名古屋への通勤・通学や、週末・祝日などのお買い物・レジャーなど、幅広くご利用をいただければ、と思います。

## 市役所の人事異動

4月1日付で、306人の人事異動を行いました。課長級以上の異動は次のとおりです。※（ ）内は旧任

- 【部長級】**
- ▽総務部長（職員課長）▽下村等▽福祉部長（総務管理課長兼選挙管理委員会事務局局長）浅野典之▽経済部長（観光交流課長）永田千春▽水道部長（水道課長）岩佐隆司▽会計管理者兼会計課長（国保年金課長）二保幸二▽教育委員会事務局長（商工課長兼中濃公設地方卸売市場場長）渡辺数忠▽関商工高等学校校長（岐阜県教育委員会）山田 雄治
- 【課長級】**
- ▽秘書広報課長兼経営戦略室長（秘書広報課長）井上敬一▽職員課長（秘書広報課主幹兼経営戦略室長）後藤勝巳▽危機管理課長（高齢福祉課主幹）波多野一人▽企画政策課長兼電子情報室長（市民協働課長）森川哲也▽市民協働課長（子ども家庭課長）森小百合▽洞戸事務所長兼洞戸地域教育事務所長（市民課長）安達博雄▽武芸川事務所長兼武芸川地域教育事務所長（農務課課長補佐）川島友教▽武儀事務所長兼武儀地域教育事務所長（福祉政策課主幹）西川英文▽総務管理課長兼選挙管理委員会事務局長（市民協働課主幹）相宮定▽契約検査課長（武儀事務所長兼武儀地域教育事務所長）可児茂▽高齢福祉課長（福祉部付課長兼関市社会福祉協議会派遣）後藤達也▽子ども家庭課長（子ども家庭課主幹）安田肇▽市民課長（議会事務局次長）長尾直志▽国保年金課長（関市保健センター所長）中島好子▽関市保健センター所長兼子育て世代包括支援センター所長（危機管理課長）西部靖▽生活環境課長（総務管理課主幹兼監査委員事務局局長兼選挙管理委員会事務局次長）津古典男▽商工課長兼
- 消費生活センター長（企画政策課長）** 横山伸治▽**観光交流課長（都市整備課長）** 西部成敏▽**農務課長兼農業委員会事務局長（生活環境課長）** 足立光明▽**林業振興課長（洞戸事務所長兼洞戸地域教育事務所長）** 後藤浩孝▽**土木課長（都市整備課主幹兼区画整理室長）** 山田達史▽**都市計画課長（林業振興課長）** 市原克美▽**都市整備課長（下水道課長兼浄化センター所長）** 大桑哲生▽**水道課長（水道課課長補佐）** 中村進▽**下水道課長（土木課主幹）** 篠田久善▽**議会議務局次長（税務課主幹兼収納推進室長）** 西部延則▽**生涯学習課長兼中央公民館長（生涯学習課主幹）** 三輪之▽**学校教育課長（岐阜県教育委員会）** 森正昭▽**関商工高等学校教頭（岐阜県教育委員会）** 長谷川繁樹
- 【転出者】（3月31日付）**
- ▽岐阜県教育委員会（関商工高等学校校長）櫻井智明▽岐阜県教育委員会（学校教育課長）寺澤徹夫▽岐阜県教育委員会（関商工高等学校教頭）三輪英一
- 【退職者】（3月31日付）**
- ▽（総務部長）中村邦章▽（福祉部長）服部哲久▽（経済部長）坂井一弘▽（水道部長）和座豊秋▽（会計管理者兼会計課長）加藤源一郎▽（教育委員会事務局局長）平田尚▽（武芸川事務所長兼武芸川地域教育事務所長）山田喜一▽（契約検査課長）相宮好孝▽（高齢福祉課長）武藤由美子▽（農務課長兼農業委員会事務局局長）玉田和久▽（土木課長）山田英臣▽（都市計画課長）遠藤修▽（生涯学習課長兼中央公民館長）加藤正直
- ◆照会先 職員課 ☎23-6814

3月16日～4月17日にあった  
市内の話題を中心にご紹介します。

# あんなこと、 こんなこと

関市イメージキャラクター  
「関\*はもみん」



## 新しい伝統をつくっていきます

長い歴史とともに閉校した洞戸中学校と板取中学校が統合し、板取川中学校として生まれ変わりました。4月7日、多くの関係者が見守る中、開校式が行われ、新中学校の校旗が授与されました。「2校の伝統を引き継ぎながら、自分たちで新しい伝統をつくっていききたい」と生徒代表が抱負を述べました。



## 勇壮な祭りは健在でした

4月17日、武芸八幡宮で花馬まつりが開催されました。桜の造花を背中に飾った花馬が登場すると、待ち構えていた氏子や見物人が暴れる花馬から花飾りを奪い合いました。この造花を輪にして屋根に上げたり、家の軒先に飾ったりすると落雷防止や家内隆盛の御利益があると言われています。



## 地元企業の心強い味方です

今夏に開設予定の中小企業や起業家の支援機関「関市ビジネスサポートセンター(通称:Seki-Biz)」のセンター長に杉山正和さん、副センター長に松浦俊介さんが選ばれ、4月7日、就任会見を行いました。杉山さんは、「企業の持つ技術の強みやよさを価値につなげていきたい。」と抱負を語りました。



## 新しい仲間とともに

4月7日、関市に新たな中学校が誕生しました。3月で閉校となった武儀中学校と上之保中学校が統合し、津保川中学校が開校しました。開校式では新しい校旗が授与され、生徒代表が「新しい仲間ができる喜びとともに、みんなで目標をもって取り組んでいきたい」と決意を語りました。



## 今年も迫力満点でした

4月16日に毎年恒例の関まつり・あんどんみこしコンクールが行われました。会場の本町通りには多くの観客が集まり、色とりどりで迫力のあるみこしに魅了されました。今年の特等には、関市が生んだ戦国武将・大嶋雲八公のからくりを施した大門町の「大雲寺と大嶋雲八」が選ばれました。

